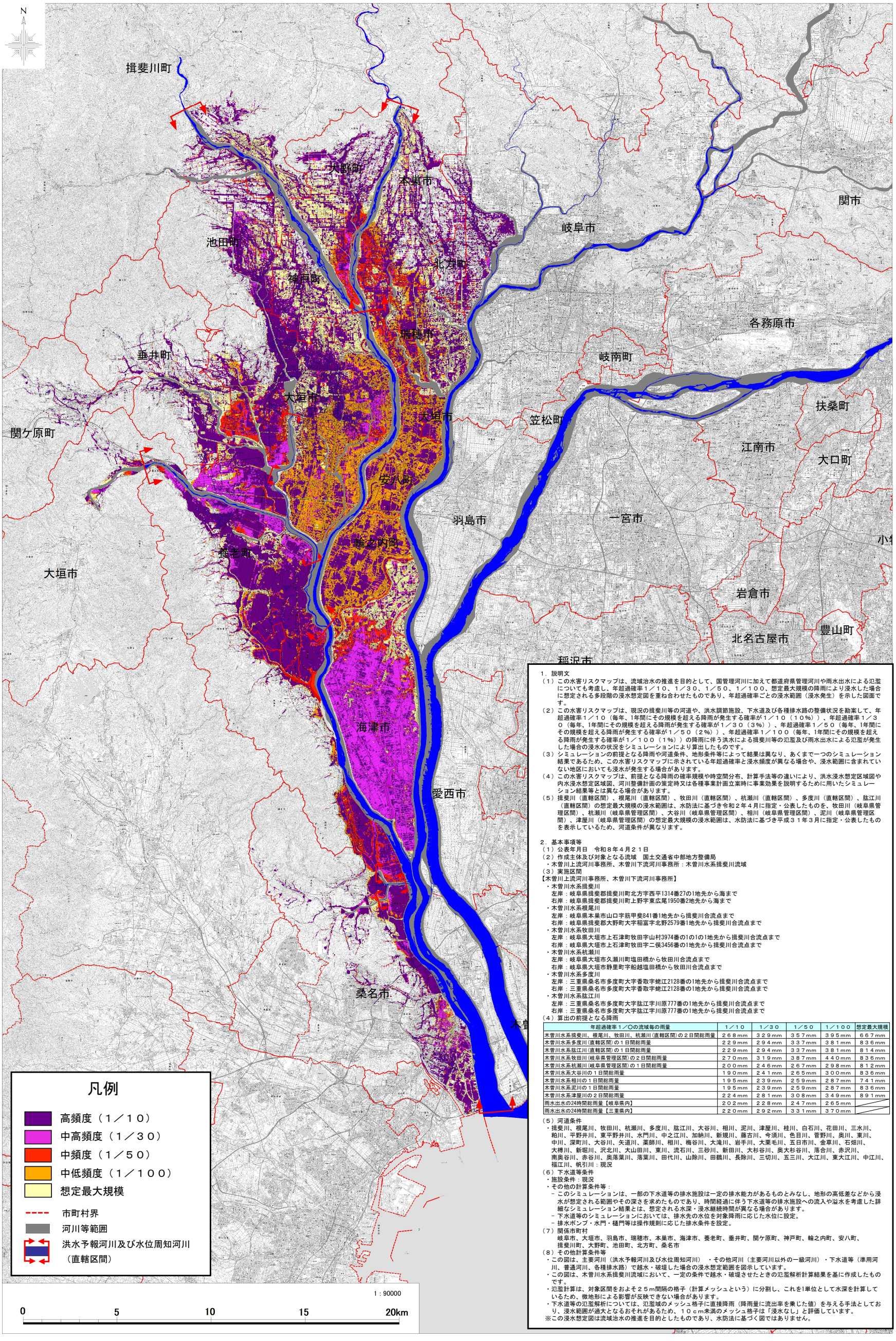
木曽川水系揖斐川　内外水統合型の水害リスクマップ
【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示



１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の揖斐川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／１０（１０％））、年超過確率１／３０（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／３０（３％））、年超過確率１／５０（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／５０（２％））、年超過確率１／１００（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／１００（１％））の降雨に伴う洪水による揖斐川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果であるため、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

（４）この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

（５）揖斐川（直轄区間）、根尾川（直轄区間）、牧田川（直轄区間）、杭瀬川（直轄区間）、多度川（直轄区間）、肱江川（直轄区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年４月に指定・公表したものを、牧田川（岐阜県管理区間）、杭瀬川（岐阜県管理区間）、大谷川（岐阜県管理区間）、相川（岐阜県管理区間）、泥川（岐阜県管理区間）、津屋川（岐阜県管理区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成３１年３月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和８年４月２１日

（２）作成主体及び対象となる流域　国土交通省中部地方整備局
・木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所：木曽川水系揖斐川流域

（３）実施区間

【木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所】
・木曽川水系揖斐川
左岸：岐阜県揖斐郡揖斐川町北方字西平1314番27の1地先から海まで
右岸：岐阜県揖斐郡揖斐川町上野字東広尾1950番2地先から海まで
・木曽川水系根尾川
左岸：岐阜県本巣市山口字筋甲斐841番1地先から揖斐川合流点まで
右岸：岐阜県揖斐郡大野町大字稲富字北野2579番1地先から揖斐川合流点まで
・木曽川水系牧田川
左岸：岐阜県大垣市上石津町牧田字山村3974番の1の1の1地先から揖斐川合流点まで
右岸：岐阜県大垣市上石津町牧田字二俣3456番の1地先から揖斐川合流点まで
・木曽川水系杭瀬川
左岸：岐阜県大垣市久瀬川町塩田橋から牧田川合流点まで
右岸：岐阜県大垣市静里町字船越塩田橋から牧田川合流点まで
・木曽川水系多度川
左岸：三重県桑名市多度町大字香取字蛯江2128番の1地先から揖斐川合流点まで
右岸：三重県桑名市多度町大字香取字蛯江2128番の1地先から揖斐川合流点まで
・木曽川水系肱江川
左岸：三重県桑名市多度町大字肱江字川原777番の1地先から揖斐川合流点まで
右岸：三重県桑名市多度町大字肱江字川原777番の1地先から揖斐川合流点まで

（４）算出の前提となる降雨

年超過確率１／〇の流域毎の雨量	１／１０	１／３０	１／５０	１／１００	想定最大規模
木曽川水系揖斐川、根尾川、牧田川、杭瀬川（直轄区間）の２日間総雨量	２６８ｍｍ	３２９ｍｍ	３５７ｍｍ	３９５ｍｍ	６６７ｍｍ
木曽川水系多度川（直轄区間）の１日間総雨量	２２９ｍｍ	２９４ｍｍ	３３７ｍｍ	３８１ｍｍ	８３６ｍｍ
木曽川水系肱江川（直轄区間）の１日間総雨量	２２９ｍｍ	２９４ｍｍ	３３７ｍｍ	３８１ｍｍ	８１４ｍｍ
木曽川水系牧田川（岐阜県管理区間）の２日間総雨量	２７０ｍｍ	３１９ｍｍ	３８７ｍｍ	４４０ｍｍ	８３６ｍｍ
木曽川水系杭瀬川（岐阜県管理区間）の１日間総雨量	２００ｍｍ	２４６ｍｍ	２６７ｍｍ	２９８ｍｍ	８１２ｍｍ
木曽川水系大谷川の１日間総雨量	１９０ｍｍ	２４１ｍｍ	２６５ｍｍ	３００ｍｍ	８３６ｍｍ
木曽川水系相川の１日間総雨量	１９５ｍｍ	２３９ｍｍ	２５９ｍｍ	２８７ｍｍ	７４１ｍｍ
木曽川水系泥川の１日間総雨量	１９５ｍｍ	２３９ｍｍ	２５９ｍｍ	２８７ｍｍ	８３６ｍｍ
木曽川水系津屋川の２日間総雨量	２２４ｍｍ	２８１ｍｍ	３０８ｍｍ	３４９ｍｍ	８９１ｍｍ
雨水出水の24時間総雨量【岐阜県内】	２０２ｍｍ	２２８ｍｍ	２４７ｍｍ	２６５ｍｍ	
雨水出水の24時間総雨量【三重県内】	２２０ｍｍ	２９２ｍｍ	３３１ｍｍ	３７０ｍｍ	

（５）河道条件
・揖斐川、根尾川、牧田川、杭瀬川、多度川、肱江川、大谷川、相川、泥川、津屋川、桂川、白石川、花田川、三水川、粕川、平野井川、東平野井川、水門川、中之江川、加納川、新規川、藤古川、今須川、色目川、菅野川、奥川、東川、中川、深町川、大谷川、矢道川、薬師川、相川、梅谷川、大滝川、岩手川、大栗毛川、五日市川、金草川、石畑川、大樽川、新堀川、沢北川、大山田川、東川、流石川、三砂川、新田川、大杉谷川、奥大杉谷川、落合川、赤沢川、南奥谷川、赤谷川、奥落葉川、落葉川、田代川、山除川、田鶴川、長除川、三切川、五三川、大江川、東大江川、中江川、福江川、帆引川：現況

（６）下水道等条件
・施設条件：現況
・その他の計算条件等：
－ このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
－ 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を対象降雨に応じた水位に設定。
－ 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

（７）関係市町村
岐阜市、大垣市、羽島市、瑞穂市、本巣市、海津市、養老町、垂井町、関ケ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、桑名市

（８）その他計算条件等
・この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）　・その他河川（主要河川以外の一級河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。
・この図は、木曽川水系揖斐川流域において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
・氾濫計算は、対象区間をおよそ２５ｍ間隔の格子（計算メッシュという）に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、１０ｃｍ未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。
※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

「国土地理院の電子地形図25000『横山』『谷汲』『美濃神海』『岩佐』『美濃』『美束』『池野』『北方』『岐阜北部』『美濃関』『関ヶ原』『大垣』『岐阜西部』『岐阜』『犬山』『霊仙山』『養老』『竹鼻』『一宮』『小牧』『篠立』『駒野』『津島』『清州』『名古屋北部』『竜ヶ岳』『阿下喜』『弥富』『蟹江』『名古屋南部』『御在所山』『菰野』『桑名』『飛島』『鳴海』『伊船』『四日市西部』『四日市東部』『大野』『刈谷』を掲載」「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。」「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 1008」